

学力向上に効果のある取組事例

杵築市立護江小学校

思考力・判断力・表現力等の育成

取組の具体①

○ 授業改善にむけた全教職員の共通理解

学力向上プランを基にした授業改善

【 授業改善テーマ 】

「見通しをもち、筋道を立てて考え、伝え合う力を育てる授業づくり」

【 取組内容 】

- ①見通しをもたせ、筋道を立てて考えるためのキーワードと「深める問い」の設定
- ②筋道を立てて考えを伝え合う場の設定

【 具体的な取組 】

- ・単元の見通しをもたせ、自分の学びを振り返る「振り返り」を設定する。
- ・「めあて」や「課題」に論理的思考を促すためのキーワードを入れ1時間の見通しをもたせるとともに、展開で「深める問い」を設定することで、児童の思考を深めていく。
- ・ペアやグループでの交流活動を日常的に取り入れ、伝え合う機会を多く設定する。また、交流の前には、話し手・聞き手の両方について何を意識するのか目的を確認する。



取組の具体②

○ 授業改善にむけた全教職員の共通理解

事実解釈型の校内研究会

- ・指導主事に指導助言をいただきながら授業改善のテーマに沿った提案授業を行い、事実解釈型での事後研を行う。
- ・2色の付箋(事実:子どもの発言や行動, 解釈:事実から言えそうなことや気づき)を使って各自が意見を出し合う。それらの意見をもとに各グループで討議をし、討議終了後には各グループの代表が全体の場で発表し、成果と課題を整理しながら今後の指導の在り方についてまとめる。

各種学力調査の結果分析

- ・各学年の担当が正答率の低かった問題を説明した後、全員で問題を解き原因を探る。互いに意見を出し合い、課題及び改善策を共通理解して、全職員が当事者意識をもって授業に取り組む。

